

事業活動実績報告書

施設名	やくし幼稚園		
教育理念	自ら考え行動する子どもたちの育成		
1 事業名	英語に親しみながら、日本の文化に触れる		
2 実施期間	令和 7年 4 月 17 日 ～ 令和 8 年 3月 13 日		
3 取組概要	(取組日) 令和7年 4月 17 日 ～ 令和 7年 4月 30 日		
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること		
	テーマ 数字、挨拶、色、花まつり、こいのぼり 基本表現 I like color.(好きな色の表現) 歌 Alphabet,Seven Steps,Hello,Good-Bye,Rainbow Song 最初は緊張した面持ちであったが、時間が経つにつれ、笑顔で英語楽しい!と過ごせるようになった。挨拶、アルファベット、数字、動詞に触れ、英語で過ごすことに慣れていってもらった。4月8日は花まつりであり、お釈迦様の誕生日を英語で祝うこともできた。		
	(取組日) 令和 7年 5月 1日 ～ 令和 7年 5月 31日		
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること		
テーマ 動物 基本表現 I like animals.(動物の言い方) 歌 BINGO Waking Walking 動物のテーマは子どもたちにとって興味深く、親しみやすいテーマであった。遠足を取りあげ、英語での動物の表現を楽しく触れていくことができた。 教室を飛び出し、園庭に出て英語で幼稚園探検を行った。			
3 取組概要	(取組日) 令和 7年 6月 1日 ～ 令和 7年 6月 30日		
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること		
	テーマ 天気、梅雨 基本表現 It's (weather). How is the weather? 天気のいい方、どんな天気か質問できる 歌 Rain,Rain, Go Away 日本の雨期「梅雨」にちなんで、天気の表現にふれた。天気は子どもたちにとっても身近なテーマのため、積極的に発言することにつながった。 英語で紙芝居を行い、「桃太郎」を英語で楽しんだ。 英語で幼稚園探検も引き続き行っている。		
3 取組概要	(取組日) 令和 7年 7月 1日 ～ 令和 7年 8月 31日		
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること		
テーマ 形、七夕、盆踊り 基本表現 What's this? It's (shape). 形の言い方。 歌 Shape Song 七夕飾りに用いる折り紙や、画用紙でさまざまな形をしり、英語での表現に触れていった。盆踊りでは、円になって踊ることや、盆踊りの英語表現にも触れていった。 英語で幼稚園探検も引き続き行っている。			

3	取組概要	(取組日) 令和 7年 9月 1日 ~ 令和 7年 9月 30日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 運動会、からだ、月見 基本表現 Touch your ().(体の部位の言い方) 歌 Head and Sholders 運動会の季節を迎え、体を動かすことが多くなった子どもたちに意識的に体の部位について、触れていってもらった。また運動会は日本独自のイベントであること、運動会の練習でも体について意識しながら過ごせるように促した。	
		(取組日) 令和 7年 10月 2日 ~ 令和 7年 10月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 乗り物 基本表現 It's a (car).(乗り物の言い方) 歌 The Wheels on the Bus. 乗り物は世界共通のものが多く、また子どもたちの身近なテーマであったため、取り組みをしやすいかった。バスのように英語と日本語での表現が類似しているものから、そうでないものまで幅広く触れることができた。	
		(取組日) 令和 7年 11月 4日 ~ 令和 7年 11月 30日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 果物、野菜、七五三 基本表現 Here you are. Thank you. 果物、野菜の表現の仕方、物を渡すときの言い方 歌: The wh Apples and Bananas, Head ,Shoulders七五三バージョン 勤労感謝の日にちなみ、以前触れた職業のなかで八百屋さんや青果店にスポットを当てる。七五三の行事の意味や由来を知る。 紙芝居を英語で親しみ「浦島太郎」を楽しんだ。	
		(取組日) 令和 7年 12月 1日 ~ 令和 7年 12月 25日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 正月準備、果物、野菜 基本表現 It's a (). 果物、野菜の表現の仕方、 歌: Apples and Bananas もうすぐお正月を迎えることに触れ、正月準備の中で、食べ物や果物に触れていく。英語でも osech(おせち料理)のようにそのままの表現でもよいことを知る良い機会となる。 園庭での幼稚園探検もひきつづきおこなっている。	
		(取組日) 令和 8年 1月 7日 ~ 令和 8年 1月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 正月、職業 基本表現 Happy new year!! want to be -----. 「~になりたい」の言い方。 歌 If you're happy and you know it, say Happy New Year! テーマは「職業」について。様々な職業を英語で知ること为目标とする。力士や歌舞伎役者など日本ならではの職業にも触れていく。	
		(取組日) 令和 8年 2月 1日 ~ 令和 8年 3月 13日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 基本表現 I am wearing-----. 「~を着ています」の言い方。 歌 What are you wearing? 衣類について触れていく。日常生活で着用しているアイテムを楽しみながら、表現をする。園内のひな人形についても観察し、日本の着物について知り、英語で表現してみる。	

効果検証報告書(継続事業用)

施設名		やくし幼稚園				
教育理念		自ら考え行動する子どもたちの育成				

事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
	健康	人間関係	環境	言葉◎	表現○
1 事業名	英語に親しみながら、日本の文化に触れる				
2 事業概要	従来より行っている英語教室に日本の文化に慣れ親しむカリキュラムを加え、英語に親しみながら日本文化のほか、年中行事に触れる。				
3 対象学級(クラス名) 対象人数	年長児(クラス名:あお1組、青2組)			51 名	
計画時	4 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況			
	日本の文化に理解、経験のある日本語、英語のバイリンガルの講師2名 日本人の担任教諭、活動内容に応じて幼稚園教諭を補充する。アクティビティを行える十分な広さの保育室、園庭。				
事業後	4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等			
	英語に慣れていない子どもたちでも、日本の文化を題材にすることで、英語を身近に感じることができる。また日本の文化に理解があるバイリンガルの講師を迎えることで、安心して英語に触れることができた。				
計画時	5 事業のねらい	「英語が勉強になる前に」というポリシーの英語教室において、英語を身につけるだけでなく、子どもたちが親しんでいる日本の文化や慣習、年中行事を知り、英語で表現することで、幼いころからグローバルな人材の育成を目指す。英語の表現を知ること、日本語での気づきや興味関心を深めるきっかけとなる。			
	5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等			
事業後	子どもたちが好きな歌や、手遊びを用いて英語に触れることで、遊び感覚でコミュニケーション手段としての英語に触れることができた。				
	6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等			
計画時	講師(外国人、日本人)の確保 教材の選定と更新(やくし幼稚園独自のカリキュラム設定) 端午の節句、梅雨、七夕、盆踊り、月見、運動会、七五三、正月、節分といった日本文化や慣習、年中行事を知り、英語での表現を身につけることによって、日本と世界との垣根をとりはらう。 毎週木曜日に活動を行い、1クラスずつの少人数レッスンを行う。 参観日を設定し、園児だけでなく保護者などにも取り組みを周知する。				
	上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点				
	言葉:生活の中で言葉の楽しさや美しさに気づく。 絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、創造する楽しさを味わう。 表現:様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 子どもたちの身近な日本の文化や慣習に親しみ、新たに知る楽しみを知る。 日本の文化や慣習について日本語、外国語(英語)での表現方法を知る。				
	(継続事業のみ記入)前年度の取組から発展させた点				
日本の昔話や日本の生活習慣を題材とした紙芝居を英語で楽しむ。 子ども達が日頃より慣れ親しんでいる題材を用いることで、英語と日本語の言語垣根を取り払って物語に触れることができる。日本語での表現と英語での表現に自然に触れることができる。					

計画時	事業後	6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 英語での紙芝居については、昔話とはいえ、子どもたちにとってはなかなか難しい様子であった。今後の対策としては、まず日本語で同じ紙芝居に十分に触れてから、英語の紙芝居に触れられるよう配慮したい。
	7 環境構成例		多目的スペースの確保。 日本文化、慣習、年中行事の案内パネル、カードなどの展示物。 活動の振り返りができるワークブックの準備。 カリキュラムに応じた具体物などの教材。 室内だけでなく、戸外での活動も積極的に行う。 その他の園行事にも積極的にに関わり合いを持つ。
計画時	事業後	7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 アクティビティを行うため、多目的スペースの確保は必須である。園庭などでの活動は天候に左右されることがあるため、日程など柔軟に対応していくようにする。一度だけでなく複数回同じテーマで保育室外の活動を行うことも子どもたちにとっては親しみが深まるため実施していきたい。
	8 期待される効果 児童の姿		取組を通じて期待される児童の姿や効果等 昨今、習い事などで英語に親しむ子どもたちは増えているが、自分が生まれ育っている日本の伝統文化や慣習、年中行事について日本語で親しむだけでなく、英語での表現を知ることによって他者に対して日本のことについて伝えようとする意欲が芽生える。 現代の欧米化した生活において、存在が薄くなっている日本の伝統文化を改めて知る機会になるとともに、自分たちのルーツである日本とその身近な文化を大切にするという気持ちが芽生える。幼少期に身につけたものは、やがて自身の常識となり、アイデンティティともなるとともに、次の世代へ伝えていくきっかけとなる。
	事業後	8についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 親しみのある歌を英語で歌ったり、身近に感じる題材を用いることで始めて英語に触れる園児でも、英語の時間を楽しみにする姿があった。英語に触れていきながら、すでに知っている日本の文化にあらためて英語という違う角度から触れていくことに新鮮さを感じられている様子だった。
9 効果検証総括			事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 幼いころから英語に慣れ親しんでいくことは、これからの時代特に必要になっていくことと感じている。遊びを通して英語に触れることが子どもたちにとって、「英語って楽しい」という感覚につながり、無理なく英語に対する興味関心を育むことができると感じている。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。